

平成25年度 歯と口の健康のための ヒント集



宮城県南三陸教育事務所

I 小学校の実践例

気仙沼小学校	校長：山崎 昭	児童数：385名
	学校歯科医：猪苗代盛昭	鈴木 一雄

○平成25年度学校保健の実践事項

アンケートや面談、観察等により児童の実態を把握し、スクールカウンセラー、養護教諭、生徒指導支援員、担任との連携を密にして、心のケアの充実を図る。

1 歯科保健教育の取組

(1) 学級活動における歯と口の健康に関する授業実践

- ・ 2, 5学年では校医による「歯と口の健康教室」を実施している。
- ・ その他の学年には、養護教諭が各学年の歯と口の健康課題や発達段階に合わせたブラッシングの方法について指導した。

2 歯と口の健康に対して関心を高める取組・家庭への啓発活動

(1) 健康診断での取組

歯科健診においては、児童が積極的に自分の歯と口の健康について知ろうとする機会にしたいと考え、健診会場に健診用語の意味を掲示し、待ち時間に眺められるように工夫した。

- ・ 歯ブラシを持参させ、歯肉炎や歯垢付着がみられた児童には、校医からその場でブラッシングの仕方についてなど指導をいただいた。
- ・ 早期の治療や処置が必要な児童や、校医から日常生活における注意点、食習慣の見直し等を指導された児童の家庭には、歯科健康診断結果と併せて、具体的な指導事項を知らせた。

(2) 「はみがきがんばりカード」「けんこうカレンダー」における取組

- ・ 6月の歯と口の健康週間に「はみがきがんばりカード」、夏休みや冬休みには「けんこうカレンダー」を家庭に配付して、1日3回のはみがきが習慣化できるよう児童への意欲付けと家庭への協力をお願いした。児童の感想や保護者からのコメントについては、保健だよりで紹介し、児童と保護者の歯と口への関心の向上を図っている。

(3) 家庭への啓発活動

- ・ 学校で習得した知識を実践するためには家庭の協力が不可欠であるため、保健便りや学校保健委員会の場など、機会を捉えて家庭への啓発を行っている。

3 むし歯の早期治療を呼びかける取組

(1) 掲示物による呼びかけ

- ・ 全体の治療率を廊下に表示し、児童や来校した保護者が常に目に触れ、治療状況を意識できるようにしている。

(2) 保健だよりによる呼びかけ

- ・ 毎月の保健だよりで、各学年の治療状況や全体の治療率を知らせ、早期の治療の呼びかけを行っている。

(3) 担任からの呼びかけ

- ・ 職員会議でその月の治療率を報告する他、担任には未処置者名簿を渡し、治療が済んでいない児童や、特にむし歯の状態が悪い児童を把握してもらい、個別の声かけや、参観日の学級懇談で呼びかけをお願いするなど、担任と連携を図りながら家庭への早期治療の呼びかけを行っている。

九条小学校

校 長：山本 正美
学校歯科医：加藤 誠

児童数：349名

○平成25年度学校保健の実践事項

「早寝・早起き・朝ごはん」を視点に生活点検を行ったり，強化週間を設定したり，お茶うがいの励行を行うなど健康的な生活習慣の育成と事故防止に努める。

1 口腔衛生に関する意識の向上と正しいブラッシング方法の習得

(1) 歯科衛生士による歯科保健指導とブラッシング指導

7月実施 1, 3, 6年対象

1年生（上手な歯のみがき方）

3年生（むし歯の予防と歯肉炎の予防）

6年生（歯肉炎の予防）

(2) 特別支援学級での学級指導

養護教諭によるむし歯予防指導とブラッシング指導 7月と11月実施

2 治療率の向上

(1) 歯ッピーコンクールの実施

健全歯者とう歯治療完了者の割合を歯ッピーポイント（ハッピーポイント）としてポイント数をクラス別に定期的に発表。100ポイント（治療完了）を目指す。年度末にポイント数の高いクラスを表彰する。

3 個人差の解消

(1) 個別のブラッシング指導

歯肉炎り患，う歯の多い児童等対象

10月～11月 昼休み 20分間指導（55名実施）

鹿折小学校

校 長：藤村 俊美
学校歯科医：小松 秀男

米倉 康城

児童数：239名

○平成25年度学校保健の実践事項

家庭との連携により健康的な生活習慣（はやね，はやおき，あさごはん，排便，歯みがき等）の徹底を図る。

1 学級指導における正しい歯みがきの指導

(1) 日時 7月7日（日） 5校時 授業参観日

(2) 対象 特別支援学級 児童4名 保護者4名

(3) 内容 ・歯・口に関するクイズ

・正しい歯の磨き方を知る。

・染め出しをする。

・染まったところをチェックする。保護者と一緒に鏡をみながら確認する。

・染まったところの汚れをとる。保護者と一緒に歯を磨く。

白山小学校

校 長：豊田 康裕
学校歯科医：小野寺智恵子

児童数： 21名

○平成25年度学校保健の実践事項

口腔の健康増進のため、給食後、音楽に合わせて歯みがきを行わせる。また、歯垢染め出し剤を用いた歯みがき指導を実施する。

1 食後の歯みがきの習慣形成

毎日の給食後に歯みがきタイムを設け、校内放送で歯みがきの音楽を流し、その音楽に合わせて学級ごとに歯みがきを実施している。

2 学校歯科医との連携

学校歯科医の先生と歯科衛生士の方にご協力をいただき、毎年6月に5・6年生対象のブラッシング指導を実施している。カラーテスターを用いた歯垢の染め出しを行い、正しい歯のみがき方のポイントや児童一人一人に合った歯のみがき方についてご指導いただいている。



3 学級担任との連携

各学級の児童の発達段階に合わせて、学級担任と養護教諭のTTでの歯科保健指導を実施している。

歯垢の染め出しを含むブラッシング指導のほか、学級に応じて、むし歯のメカニズムやおやつのとりの仕方などの内容についても指導している。



4 家庭との連携

健康診断結果のお知らせやおたより等で歯科受診について呼びかけるとともに、長期休業期間前には、毎食後の歯みがきについてのチェック項目を設けた生活習慣チェックカードを児童へ配布し、家庭でも児童の様子をみていただいている。

松岩小学校

校 長：佐藤 均
学校歯科医：遠藤 修 千葉 信一

児童数：393名

○平成25年度学校保健の実践事項

ハンカチ、ちり紙の携帯等、健康良習慣の定着、うがい・手洗い・室内換気・薄着励行による感染症予防

<実践>

1 給食後の歯みがき指導

2 保健だよりでの啓発、歯科受診のお知らせ

- 3 学校保健委員会の実施（助言，指導）
- 4 気仙沼市のよい歯のコンクールに応募（保健委員会で呼びかけ回収）
- 5 学級活動（5学年）・・・学校歯科医による指導
→内容「むし歯，歯周病の予防と12才臼歯のみがき方」
（毎年1学期に実施，本年度は5年生3学級のため，3回来校し指導）
- 6 学級活動（低学年）・・・養護教諭による指導
→内容「むし歯の原因と6才臼歯のみがき方」
- 7 教育講演会・・・学校歯科医による講演会「歯は生きている」保護者対象
（25年7月実施）

<今後>

- 1 学級活動における歯の指導の定着化（年間1回程度，全学級で実施）

水梨小学校

校 長：荒井由美子
学校歯科医：遠藤 修

児童数： 34名

○平成25年度学校保健の実践事項

肥満傾向児への指導として，マラソン，縄跳び，元気アップエクササイズなど年間を通じた運動の機会を設ける。

1 学級ごとの歯みがき指導

- (1) 1年生：「歯の王様を守ろう！」についての講話をした。今，自分たちの口の中に生えてこようとしているとても大事な役目がある歯，6歳臼歯について理解を図った。その後，黒いクッキーを食べて，どこに汚れが付きやすいかを確認し，みがき方（特に奥歯）の練習をした。
- (2) 2年生：「永久歯の生え方や歯の名前や役割」についての講話をした。歯垢の染め出しを行い，歯みがきCDにあわせてみがき方（特に奥歯と前歯）の練習をした。染め出しをした時とみがいた後の写真を撮り，比較してみた。
- (3) 3～4年生：「歯の名前と役割」について及び「おやつ」についての講話をした。黒いクッキーを食べた後，どの部分に汚れが付きやすいかを観察し，汚れを落とすみがき方を練習した。（歯の溝，歯と歯の間，歯と歯ぐきの境目等）
- (4) 5～6年生：「歯みがきで歯肉炎を防ごう！」小学校高学年の30～40%が歯肉炎になっていると言われていたこと，歯肉炎は自分で見つけられること，軽度の場合はきちんと歯みがきをして治すことができること，歯周病についての講話など

をした。その後、自分の歯肉の様子や歯垢の付着について観察（染め出し）し、ていねいなみがき方（特に歯と歯ぐきの境目）の練習をした。

2 歯の健康集会

運動保健委員会の児童による全校集会を実施している。今年度は、「歯についての○×クイズ in みずなし」と題して、たてわりグループ対抗のクイズ大会を行った。

3 掲示物の工夫

児童の興味や関心を高めるために、保健室前の掲示板を使って、歯の生え替わりの様子や歯科検診の結果を歯列票にカラーシールを貼って表した「水梨小のむし歯地図」、
「キラリ、白い歯、光っているのはだ～れ？」（フローチャート方式のクイズとメッセージ）などを掲示した。

4 保健だより

検診の結果、学級の歯みがき指導の様子、永久歯に生え替わる時期の子どもたちの歯をむし歯から守るために保護者にも気をつけてもらいたいことなどを保健だよりでお知らせした。

新城小学校

校長：菅原 輝夫
学校歯科医：米倉 康城

児童数：225名

○平成25年度学校保健の実践事項

月の重点目標を設定し、健康の保持の知識や技能を身につけさせる。

1 早期治療の推進

(1) ダイヤモンド賞（健全歯者）パール賞（処置完了者）の授与

2 歯みがきの習慣化

- (1) 給食後の歯みがき実施
- (2) 長期休業中の歯みがきカレンダー実施

3 歯と口の健康週間の取り組み

- (1) 養護教諭による講話…昼の放送
- (2) 学級活動での保健指導…染め出しを使っての歯みがき指導（TTでの指導）
- (3) 児童保健委員会による集会活動（新城小学校の歯の実態・歯のクイズ）
 - ① 学校保健委員会での話し合い
 - ② 保健だよりでの保護者への啓発

月立小学校

校 長：高橋 康
学校歯科医：菅原 恭

児童数： 29名

○平成25年度学校保健の実践事項

栄養士や学校歯科医による指導を実施し、生活習慣の育成を図る。

- 1 学校では、う歯の早期治療勧告や毎月の歯みがきカレンダーの配布を行うなど、歯みがきの励行に努めている。
- 2 学校歯科医と連携し、う歯と歯肉炎予防のブラッシング指導（歯の健康教室）を行っている。

落合小学校

校 長：熊谷 聖
学校歯科医：皆川 一郎

児童数： 14名

○平成25年度学校保健の実践事項

手洗い、うがいの励行や健康づくりのための指導を通し、児童が自ら健康を保持増進する実践力を養う。

- 1 給食後の歯みがきの実施
毎日、給食後に歯みがきタイムを設けている。週2回の全校給食の際には、放送・保健委員会の児童が全校児童の前で「歯みがきサンバ」の曲に合わせて、歯の大型模型とみがき方を書いた手作りのカードを用いて、歯みがきを行っている。
- 2 長期休業中の「歯みがきカレンダー」の配布
カレンダーは、みがいた回数で色を塗り分けたり、保護者からの欄を設けたり、毎日の取組を振り返ることができるようにした。さらに、むし歯の原因や、むし歯になりやすいところ、正しいみがき方を記載し、歯と口の健康に対する意識を高めるとともに、正しい歯みがきの習慣化を図った。
- 3 学校歯科医による講話
6月27日に学校保健委員会を開催した。その中で、学校歯科医の皆川一郎先生から「学校歯科検診の結果から」という題で、むし歯の早期治療の必要性や、食生活の変化による歯列異常の増加について講話をいただいた。

階上小学校

校 長：小野寺正司
学校歯科医：菅原 初夫

児童数：228名

○平成25年度学校保健の実践事項

食後の歯みがきの習慣化と身支度を整え、協力して取り組む清掃指導を推進する。

1 正しい歯みがきの仕方の習得

→学校歯科医・歯科衛生士によるブラッシング指導

学校歯科医の指導をいただき、全学年学級毎にブラッシング指導と講話の実施。

2 歯みがきの習慣化

→長期休業日期間の歯みがきカレンダーの活用

学校での給食の歯みがき習慣の継続のため、夏季休業日と冬季休業日には歯みがきカレンダーを配布して、始業日には保護者からのコメントを記入してもらい提出させる。

3 治療率アップを目指して

→ダイヤモンド賞・ホワイ特賞の表彰 11月と2月（予定）

→治療勧告書の2回配布 6月と12月（予定）

4 口腔衛生の重要性の意識化

→給食後の歯みがきの時間の指導

養護教諭が、担任の協力をもらって、むし歯のできる理由・自分にあった歯みがきの仕方・むし歯の治療の様子についてなど、全学級で指導する。（3学期の予定）

大島小学校

校 長：佐藤 幸弘
学校歯科医：小野寺智恵子

児童数：66名

○平成25年度学校保健の実践事項

はやね・はやおき・あさごはん（3点セット：パンまたはご飯、おかず、汁物）運動を励行する。また、うがい手洗いを励行し、感染性疾患を予防する。

1 歯科保健授業（学級担任と養護教諭によるTTで実施）

1年生「乳歯と永久歯」

2年生「第一大臼歯を大切に」

3年生「むし歯を予防しよう」

（後半は染め出しによる歯みがき指導を行った。）

2 「歯みがきカレンダー」の実施（1～3年生が毎月提出）

保健室廊下に「歯みがきめいじんになろう」と題して掲示しコメントを記入して返却している。

3 「ほけんだより」による啓発

（1）定期健康診断結果のお知らせと早期治療の勧め「大島小学校の歯のようす」

- (2) 歯みがきの呼びかけ「けんこうな歯にしよう 大作戦」
- (3) 保健授業の様子のお知らせ「はみがきががんばっています」等

- 4 学校歯科医の講話とブラッシング指導（第1回 学校保健委員会）
学校歯科医と歯科衛生士から講話をもらい、保護者と教職員が染め出しを行い、指導を受けた。
- 5 児童保健委員会による呼びかけ（6月）
昼の放送で、曜日替わりで「歯と口腔の健康」に関する呼びかけを行った。
- 6 廊下掲示物の工夫
「むし歯をちりょうしてカエルをにこにこにしよう」
むし歯治療後に、カエルにシールを貼ってむし歯がなくなる様子を示すことで、早期治療を呼びかけている。
- 7 給食後の歯みがき
毎日各学級ごとにCDにあわせて歯みがきを実施している。

面瀬小学校

校 長：長田 勝一
学校歯科医：菅原 恭

児童数：367名

○平成25年度学校保健の実践事項

病気の予防について理解し、健康増進に積極的に取り組む態度や習慣を養う。

- 1 むし歯のない児童を表彰する。保健だよりでもむし歯のない児童の名前を掲載して保護者にも知らせている。
 - ・ 歯科検診結果から歯垢、歯肉の様子から正しい歯みがきが出来ていない児童に対して保健室で養護教諭が「個別のはみがき指導」を昼休みや放課後に行っている。歯磨き指導の時間は20分程度。染め出しを使って鏡を見ながら磨くので汚れがよくわかり効果的である。磨き残しや磨き方については、プリントにして家庭にも知らせる。学級担任にもはみがき指導の様子を知らせ、担任、家庭、保健室で連携して取り組んでいる。
- 2 10月末の地区懇談会に各地区担当教諭から面瀬小学校のむし歯治療の現状と早期治療の必要性を話していただいた。
 - ・ 歯科検診後に治療勧告しても治療しない家庭に対して11月8日（いい歯の日）に再度治療のお勧めをした。その後、何人かから治療済のお知らせが届いている。
- 3 1学期の最後の学年懇談会で生活アンケート結果について資料を配布し、家庭での歯みがきについて各学年で話題にしてもらい、保護者の意識付けを図った。
 - ・ 夏休み、冬休みには「はみがきカレンダー」を作成して全校児童に配布し、休み明けに回収して養護教諭がコメントを書いて返している。
 - ・ 夏休み前には、むし歯になりやすい食品の一覧を保健だよりの裏面に掲載して配布した。むし歯になりやすいおやつを提示したり、果物やジュースも夜寝る前は食

べたり飲んだりしないことを知らせることにより、夏休みにおける家庭での食生活を考える機会とした。

- 4 第1回学校保健委員会で話し合われた協議内容を職員会議で報告し、保護者にも学校歯科医から指導された内容を保健だよりで知らせた。
 - ・ 毎年第2回学校保健委員会で3年生と保護者を対象とした学校歯科医による「歯科保健講話」を実施している。歯医者さんの話を聞く機会は少ないので子どもたちや保護者からは「とてもわかりやすく勉強になった。話を聞くことができて良かった。」との声があがっている。

唐桑小学校

校長：熊谷 正子
学校歯科医：佐藤 晶

児童数：113名

○平成25年度学校保健の実践事項

家庭と連携し、健康的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん、はみがき・うがい手洗いの徹底）の形成に努める。

- 1 歯科検診後の治療勧告に加え、11月8日の「いい歯の日」に未治療の児童に対して再度治療勧告を行っている。
- 2 歯みがきタイムの時間に観察を行い、音楽に合わせて口腔内全体をブラッシングできるように声がけを行っている。
- 3 児童の健康委員会での活動
 - ・ 6月の歯の衛生週間では、養護教諭と健康委員会の児童全員が持ち回りで歯に関する話を昼の放送を利用して紹介した。
 - ・ 歯の健康に関して、委員会の児童がそれぞれ興味関心がある内容について調べ、まとめたものを「歯のマメ知識」として掲示した。
 - ・ 歯の標語コンクールに応募した作品を掲示して、全児童が関心を持てるようにした。
- 4 学校歯科医との連携
 - (1) 歯科検診時の個別指導
 - ・ ・ ・ 事前調査票を保護者に配布し、児童の歯のことで学校歯科医に聞きたいことを記入してもらった。その内容を歯科検診の際に学校歯科医に直接聞き、返答を記入して家庭に返した。
 - (2) 歯科検診後の保健指導
 - ・ ・ ・ 検診後、学級の給食に学校歯科医、歯科衛生士が入り一緒に給食を食べながら、歯の指導や姿勢に関する指導を行っていただいた。今年度は2年生に指導していただいた。
 - (3) 学習参観日における歯科保健指導
 - ・ ・ ・ 12月の参観日に学校歯科医と養護教諭によるTT指導を行う予定である。小学校中学年は歯の生え変わり期で大切な時期であるため、家庭への働きかけができるよう参観日に行う予定である。

中井小学校

校長：松本 尚人
学校歯科医：佐藤 晶

児童数： 90名

○平成25年度学校保健の実践事項

- ・ 家庭に歯の健康や生活習慣に関する啓発活動を行う。
- ・ 虫歯の治療率等，健康に関する掲示を工夫する。

1 課題1「健全歯の児童が少ない。」ことに対して

- ・ 保健だよりや学級懇談，学校保健委員会で，歯みがきの習慣化やむし歯にしない食生活等について，家庭への啓発を行っている。
- ・ 養護教諭が給食後の歯みがきタイムに，各学級でのブラッシング指導を行った。
- ・ 保健委員会の児童が「歯みがきアドバイス隊」となり，各学級に赴き，顎模型や資料を使いながらブラッシング方法を説明し，個別のアドバイスをを行った。
- ・ 保健委員会の児童が，朝会でむし歯予防の劇を行った。
- ・ 3学期には，発達段階と歯の特性を考慮した学年別の項目による「歯みがき検定」を予定している。
- ・ 長期休業中は「けんこうカレンダー」を配付し，歯みがきや生活習慣に気をつけて過ごすよう意識させている。
- ・ よくかむことがむし歯の予防にもつながることから，学校歯科医をゲストティーチャーにお招きし，「よくかんで心身を高めよう」というテーマで授業を行った。
- ・ 栄養士と連携し，「かみかみメニューコンテスト」を計画している。応募作品は，給食だより等で紹介するほか，給食の献立にも取り入れたいと考えている。

2 課題2「むし歯の治療率が低い。」ことに対して

- ・ 歯科健診時に所見がみられた児童には，その場で学校歯科医から個別指導をしてもらった。
- ・ 「歯ッピーポスター」を掲示して各学級の治療状況を一覽にし，治療への意欲づけを図っている。
- ・ 受診報告のない家庭へは，長期休業前に治療を勧めるお便りを配付している。
- ・ 歯科健診で所見のみられた児童を対象に，歯と口の健康相談「歯ッピー教室」を実施した。口腔内カメラで自分の症状を確認させ，ブラッシングの仕方や早期治療の大切さを指導した。歯の画像や指導内容はプリントにして家庭へ持ち帰らせ，意識向上を図った。

小原木小学校

校長：千葉 哲
学校歯科医：佐藤 晶

児童数： 45名

○平成25年度学校保健の実践事項

健康生活を実践しようとする態度・習慣の育成

- ・ 「早ね・早起き・朝ごはん」を視点に生活点検，強化週間等の設定による健康的な生活習慣の育成と事故防止への努力。

1 学級活動

学級活動の年間指導計画に歯科指導の内容を各学年1時間設定し，6月の「歯の衛

生週間」に合わせて指導を行っている。正しい歯ブラシのあて方、使い方による汚れを落とすみがき方の徹底や、歯肉炎のでき方とその予防の仕方について指導を行った。

また、カラーテスターで染め出しをして、みがき残しの部位を特定させ、自分が歯みがきでどこに気をつけてみがけばよいか目視させ、正しい歯のみがき方指導を行った。

2 T・T指導

担任と養護教諭のT・T指導により、学年ごとに以下の題材で児童の実態に即した指導を行った。

- 1・2年生：「6歳臼歯とむし歯」
- 3・4年生：「生え替わり時期とむし歯」
- 5・6年生：「むし歯と歯肉炎」

3 児童会生活委員会での活動

児童会生活委員会によるポスター作成と全校集会での寸劇発表を行い、むし歯予防の呼びかけを行った。

4 給食指導・かみかみデー・歯みがきの時間の設定

給食時間の校内放送で献立と使われている食材について広報することで、食物の栄養について関心を高めさせるとともに、むし歯予防や、よく噛んで食べることの大切さ、唾液の働き、望ましい食生活、食育に関わる内容等について情報を提供している。

毎月8のつく日（8日，18日，28日）を「かみかみデー」と設定し、調理場より噛みごたえのある食材を使った給食メニューを提供してもらっている。

給食後、全校一斉に歯みがき体操の音楽にあわせ、歯みがきを実施している。また、定期的に給食後の歯みがきの時間に各教室への巡回指導を行っている。

5 歯みがきカレンダー

毎月、歯みがきカレンダーを発行し、個人でめあてを設定し、一日3回、食後の歯みがき習慣育成に努めている。月末には児童及び保護者からの反省を記入してもらい、養護教諭からアドバイスなどを記入して返信している。保護者のコメントから、望ましい歯みがき習慣が確立しつつある様子がうかがえる。低学年については、保護者による仕上げ磨きもお願いしている。

6 118の指導

11月8日「いいは」の日に合わせて、歯科衛生士を招いて、歯科検診での有所見者を対象に個別の歯みがき指導を実施している。

所見項目に合わせて、問題点等を視覚的に画像を提示しながら指導をした。加えて、むし歯菌の拡大図、むし歯になりやすい食べ物、食事・間食による口の中の変化、歯みがきの効果的な仕方を指導した。

歯垢や歯肉炎がみられる児童には、歯肉の観察、歯肉炎が進行した写真や効果的な歯みがきの仕方を指導した。口腔内小型カメラで健全歯とむし歯を比較したり、カラーテスターを使用して磨き残しを染め出したりして、歯みがきで気をつけなければならないポイントを指導し、家庭での取組へつなげた。



津谷小学校

校 長：中井 充夫
学校歯科医：山谷 立憲

児童数：234名

○平成25年度学校保健の実践事項

健康的良習慣の育成，疾病予防と早期発見，心のケア，環境美化の観点で自分の生活を振り返らせ，養護教諭やカウンセラー，栄養士と連携した指導を工夫する。

1 健康診断の結果をもとに，学校歯科医の協力を得て，中学年に歯科講話を実施する。

- (1) 実施日時 平成25年11月14日 4校時
- (2) 内容 学校歯科医による歯科講話 (むし歯のでき方，予防について)
歯科衛生士による歯みがき指導 (染め出し液使用)
- (3) 実際の流れ 3年教室は「歯みがき指導教室」
4年教室は「歯科講話教室」
3年生は，前半講話を聞き，後半に歯みがき指導を受ける。
4年生は，前半歯みがき指導を受け，後半に講話を聞く。

※講話は，パワーポイントを使用し，むし歯のでき方，おやつ摂り方や歯みがきのタイミング等を教えていただいた。

※歯みがき指導は，染め出し液を使用することで，古い歯垢，新しい歯垢が色分けで残るため，磨き残しや磨き方の癖が分かり，歯みがきに意欲が出た。

馬籠小学校

校 長：木村 玲子
学校歯科医：三浦 正利

児童数：32名

○平成25年度学校保健の実践事項

日常の健康観察から適切な健康相談や保健指導を行い，基礎的知識を理解させ，実践を促し，望ましい生活習慣を身に付けさせる。

- 1 児童，保護者に対して，子どもの口の状況やむし歯予防に関する保健だよりの配布。
- 2 定期歯科健康診断後の要観察と診断された児童に対する事後指導の徹底。
- 3 給食後に鏡を使用した歯みがき指導の実践。

小泉小学校

校 長：三浦 雅彦
学校歯科医：三浦 正利

児童数：75名

○平成25年度学校保健の実践事項

学級活動や日常の生徒指導との関連を図り，望ましい生活習慣（「はやね・はやおき・あさごはん」）や心の健康の育成を図る。

- 1 日常の歯みがき指導と習慣形成について
給食時間終了後、歯みがきタイムを設定している。各学級で音楽を流しそれに合わせて歯みがきを行い、学級担任が指導を行っている。
長期休業中には歯みがきカレンダーを活用し、家庭での歯みがきの意識化・習慣化を図っている。
- 2 養護教諭による保健指導
むし歯ができる仕組みや、生え替わりの時期の歯みがきの大切さについて理解させ、カラーテスターによる染め出しをして指導を行った。
- 3 保護者への啓発活動
学校保健委員会を学習参観と同日に実施し、全保護者への参加を呼び掛けている。歯科検診の結果や治療率を報告し、早期治療や家庭での歯みがき指導について呼び掛けを行っている。

大谷小学校

校長：畠山 雅宏
学校歯科医：芳沢 隆

児童数：198名

○平成25年度学校保健の実践事項

健康観察や健康診断結果に基づく個別指導を実施し、子どもの健康管理について家庭・地域と連携し、自ら健康的な生活を実施する力を育む。また、震災後の児童の心のケアに引き続き努める。

- 1 学級単位での歯の染め出しによる歯みがき指導
歯科検診後に各学級で染め出しを行い、歯みがきのポイントを「えんぴつ持ち」「ちょちょみがき」「かるいカ」の3つに絞り基本的な磨き方の指導を行った。
- 2 学級担任と養護教諭のTTによる「歯の学習」（学習参観日）
歯科検診で、早期受診と診断された児童の在籍している学級で、「歯の学習」を行った。う歯のできるメカニズムや体への悪影響、磨き残しの多い場所などを学習し、最後に保護者にも参加していただき（染め出し液を歯に塗る）、染め出しで磨き残しの場所の確認をした。保護者にも実際に子どもの口の中を見ていただくことで、口内環境を知り、親子で「健康な歯」について考え、歯科を受診する機会が増えた。
- 3 個別指導での歯みがき指導「歯の教室」
11月には、歯科検診で歯肉炎・歯垢付着と診断された児童、う歯の多い児童を対象に個別の歯みがき指導を実施した。学年ごとに少人数で実施した。基本的な磨き方の復習と歯肉炎の学習をし、学年ごとに「きれいに磨けるようになる歯みがき」を設定し指導した。
- 4 早期受診と診断された児童への働きかけ
家庭の状況により、なかなか受診へと結びつかなかった児童への働きかけとして、保護者と面談する機会を数回設定したり、参観日を利用して親子で歯の大切さについて

て考える機会を設定するなど、学級担任と養護教諭だけでなく、教頭や主任にも働きかけ受診へと結びつけた。

志津川小学校	校 長：加藤 敬一	児童数：280名
	学校歯科医：茶園 邦佳 阿部 公喜	

○平成25年度学校保健の実践事項

肥満傾向やう歯等の健康課題を抱える児童と家庭へ積極的に個別の保健指導を行い、健康の保持増進に関する実践力を培う。

- 1 歯科健診の際に、低学年の児童に対して短時間で学校歯科医による個別指導を実施している。口腔の衛生状態について指導をいただくとともに、片側の歯だけを使って食事をすると歯並びが悪くなってしまうことや、好き嫌いとう歯の健康の関係についても指導していただいている。
- 2 日常の取組として、昼食後に5分間の歯みがきタイムを設けており、各クラスで指導を行っている。高学年でも、歯みがきが上手にできていない実態があり、養護教諭が担任からの依頼を受けて学活の時間に歯の磨き方について指導を行っている。
- 3 学活での指導の際は、児童が自分の磨き残しの状態をつかめるよう、染め出し実験を行ってから歯みがき指導を行っている。きちんと磨いているつもりでも、磨き残しが多い実態を理解させることで、指導後にはそれまでよりも丁寧に歯みがきをしている児童の様子が見られている。
- 4 保健室前の掲示物として、6月と11月に歯と口の健康に関する掲示をしている。児童が触って楽しめる掲示物になるよう工夫して作成している。11月は「歯にいいものを食べよう」というテーマで、裏面に食物の栄養素や効能などを記載した食材カードをウォールポケットに入れて掲示しており、カードを取り出して読んでいる児童の姿が見られた。

戸倉小学校	校 長：門脇 恵	児童数：77名
	学校歯科医：阿部 公喜	

○平成25年度学校保健の実践事項

自分の心や体、安全な事柄について理解し、健康の保持増進と安全に努めようとする態度を育成する。

- 1 歯科検診終了後、1年生を対象に歯科衛生士さんによるブラッシング指導を行った。初めて見る大きな歯の模型と、歯ブラシには興味深々の様子だった。とくに磨きにくい箇所を確認と、歯と歯の間、奥歯のみぞなど歯ブラシの上手



な使い方についての指導を受けた。

写真は、真剣に歯科衛生士さんの話を聞きながら、上手に歯ブラシを動かしている様子である。

児童は、むし歯になった写真や糖分が多く含まれているおやつの絵を見て驚いていた。

- 2 2年生を対象に、視覚から訴えるブラッシング指導をした。題材は「よ防さんと予防しよう」「無てきの歯ブラシ」等をインターネットからダウンロードして使用した。また、クイズ式に「むし歯のない人は何人」などの問題を出したことや、担任の先生にむし歯がないことも知らせ、児童にとってむし歯予防のよい動機づけとなった。

入谷小学校

校 長：丸森 一城
学校歯科医：阿部 公喜

児童数： 87名

○平成25年度学校保健の実践事項

児童の心身の健康状態や日常の生活習慣の把握に努め、個々の特性を理解し、健康の保持・増進に努める。児童が楽しい学校生活を送れるよう、学校と家庭の連絡を密にし、適切な支援を行うよう努める。

- 1 児童の保健給食委員が、給食後の歯みがき放送をしている。
- 2 「歯の衛生週間」には昼の歯みがき時に各学級を巡回し、個別にみがき方の指導をした。
- 3 TTによる学級指導（染め出しを使用した歯みがき指導、大切な歯等）
3学年に対して乳歯から生え替わる大切な時期の歯の健康について指導した。
- 4 児童朝会でのむし歯予防劇や噛むことの大切さ「ひみこの歯がいーぜ」を指導した。
- 5 保健日より
デンタルフロスの使い方、みがき残ししやすいところ、歯ブラシの交換時期等
- 6 2学期の身体計測時に各学級でミニ指導。
おやつの工夫（肥満指導も含め）やスポーツドリンクの砂糖について話した。

伊里前小学校

校 長：仲上 浩一
学校歯科医：小野寺 勉

児童数： 138名

○平成25年度学校保健の実践事項

衛生管理と心のケア、歯みがき実践等に努め、健康の保持増進に対する関心を高めるとともに、実践する習慣や態度の育成と、学校保健委員会活動等の組織の活性化を図る。

- 1 歯みがきタイムの設定（給食後に5分間）
- 2 宮城県歯・口の健康啓発標語コンクールへの応募
- 3 中学校区合同の職員研修会の実施（7月）
- 4 歯の授業の実施（3年生，ゲストティーチャー）
- 5 保健委員会で，歯の標語を募集し，学期末に表彰（6月）
- 6 夏休み生活チェックシートの実施
- 7 歯科検診結果でむし歯のない子を保健だよりでお知らせ
- 8 治療済み者の保健だよりでのお知らせと治療奨励
- 9 染め出しを使った歯みがき指導（11月）

名足小学校

校長：菅原 和雄
学校歯科医：小野寺 勉

児童数： 64名

○平成25年度学校保健の実践事項

うがい，手洗いを身に付けさせると共に健康増進に積極的に取り組む態度や習慣を養う。

1 現状等

- （1）震災前から南三陸町の幼児・児童生徒のむし歯は，全国でワーストワンである。
- （2）震災後も同じ状況であり，それに加えて卒乳が遅く，C〇が増加している。
- （3）肥満とむし歯は相関関係にあり，肥満児童も増加傾向にある。

2 取組等

上記のことを踏まえ，学校歯科医からの提案で，歌津地区3校（伊里前小，名足小，歌津中）合同の歯科研修会を開催した。その際，東北大学大学院教授の福本敏先生を紹介していただき，3年生を対象に，口の中の情報やブラッシング等の授業をしていただいた。また，教職員にも歯科のご講話をいただいた。

今後も毎年4年生を対象に歯科授業を実施していただく予定である。

Ⅱ 中学校の実践例

気仙沼中学校	校 長：小野寺良一	生徒数：261名
	学校歯科医：菅野 健 齋藤 修司	

○平成25年度学校保健の実践事項

心身共に健康な生活ができる生徒を育成するために歯科保健を中心とした保健指導を充実する。

1 保健だより

6月の保健だよりで歯科検診の結果を生徒と家庭に知らせ、治療と予防について呼びかけるとともに、11月の保健だよりで食生活と口腔の健康について知らせ、よく噛んで食べることや歯に良い食生活についての実践を呼びかけている。

2 学年懇談会資料

1学期の学年懇談会資料で歯科検診結果からの生徒の実態を知らせ、歯と口の健康について家庭での実践を呼びかけている。

2学期の学年懇談会資料で、学校保健委員会での学校歯科医からの指導助言内容を知らせている。

3 部活動ごとのブラッシング指導

部活動ごとのブラッシング指導を計画し実践することにより、自分にあったブラッシングの技法を身に付けさせるとともに、C O、G Oについての知識と理解を深めさせている。

鹿折中学校	校 長：菊地 道雄	生徒数：193名
	学校歯科医：熊谷 利勝	

○平成25年度学校保健の実践事項

心身共に健康で規則正しい生活習慣を身に付けさせるために、自己の健康管理に努めさせる。

1 個別のブラッシング指導（養護教諭による）

歯科検診時、歯垢が多く付着していた生徒や歯石、歯肉炎と診断された生徒、むし歯の多い生徒についてその場で養護教諭が個別指導を行った。

歯石や歯肉炎と診断された生徒には、正しいブラッシングの方法を指導した。また、むし歯が多い生徒についてはブラッシング指導の他に口腔衛生や治療の重要性について指導した。

2 通院の勧め

治療の状況等を、授業参観の懇談会資料として提示し、保護者に治療の協力を求めた。また、定期的に保健だよりで学級ごとの治療状況を知らせ、意識の向上を図った。

3 給食後の歯みがきタイムの設定

給食後には全校一斉に歯みがきの時間を設定している。ほとんどの生徒は自主的に歯みがきを行っているが、中にはみがいていない生徒も見られるので、巡回しながら声がけを行っている。

松岩中学校

校 長：佐藤 富夫
学校歯科医：三浦 克麿

生徒数：238名

○平成25年度学校保健の実践事項

個や集団における健康問題を取り上げ、個別カードを活用し、自らの課題と向き合い対処できる力を身に付けさせる。

1 給食後の歯みがき

給食前に机に歯ブラシ、歯みがきコップを準備する。給食後、校内放送で音楽「歯みがき体操の歌」を流し、教室で一斉に5分間の歯みがきを実施している。

2 歯科検診時の指導の充実

検診前に養護教諭による歯ブラシチェックを行い、歯ブラシの交換が必要な生徒への指導と歯ブラシの交換時期について指導する。検診後、指導の必要な生徒に対し、歯科衛生士による個別指導を取り入れ、自分の歯・口の健康に関心をもたせる場の工夫を行っている。

3 集団歯科保健指導の実施

昨年度から学校歯科医の三浦先生、歯科衛生士さんに来校していただき、歯周疾患要観察者（GO）生徒を対象に「ブラッシング教室」を実施している。自分の歯肉の観察や染め出しによる磨き残しの確認を行い、ブラッシング方法の習得を目的として行っている。今年度は、7月に1回目を行い、2回目を12月に予定している。

4 家庭への早期受診の呼びかけ

検診後の受診勧告や保健だよりで呼びかけを行い、学年懇談会や三者面談時には、個別に受診を勧めている。

5 生徒保健委員会による広報活動

歯と口の健康週間には、歯・口の健康に関するポスターの作成や昼の校内放送（歯の役割、歯みがきのポイント、かむことの大切さ、歯の〇×クイズ）による呼びかけを行った。

階上中学校

校 長：今野 勝美
学校歯科医：三浦 克麿

生徒数：115名

○平成25年度学校保健の実践事項

心身の健康の保持増進を図るため、実態に即した保健教育と保健管理の方法を工夫する。

1 保健学習

朝会時の校長講話 「歯の健康について」

2 保健指導

(1) 歯の磨き方指導

(2) 保健便り

(3) 学年懇談会において、保護者へ歯科検診結果の提示

3 保健管理

(1) 委員会活動

①歯みがき検査（週2回給食後の歯みがきの有無）

②文化祭で「本校の歯の健康に関する取り組み」を掲示発表

③生徒朝会での呼びかけ

④ポスター作成と校内掲示

(2) 日常の養護教諭による巡回指導

4 その他

(1) 表彰・応募

①宮城県歯・口のよい歯の学校表彰入選

②宮城県歯・口の健康に関する図画ポスターコンクール表彰
2年生1名 優秀賞 3年生1名 佳作

③宮城県歯・口の健康啓発標語コンクール応募

(2) 学校保健委員会の開催（予定）

学校歯科医からの御指導

大島中学校

校 長：菅原 裕
学校歯科医：和賀井亮樹

生徒数：68名

○平成25年度学校保健の実践事項

健康診断や保健教育を通して、心身の健康に関心をもたせ、自己管理能力を育てる。

1 治療勧告書の配付（全生徒対象）

2 健康手帳での家庭連絡

3 ほけんだよりにおいて、罹患者数の報告、学校歯科医のアドバイスを掲載

- 4 ブラッシングに関するリーフレットの作成
- 5 学校保健委員会において、歯科検診結果報告。同委員会での講義において、保護者を対象にブラッシング指導
- 6 学級懇談会での話題提供

条南中学校

校長：熊谷 利治
学校歯科医：金澤 洋

生徒数：222名

○平成25年度学校保健の実践事項

基本的な生活習慣が健康をつくる基本であることを理解させる。

- 1 保健だよりによる啓発（歯科検診の事前指導、歯科検診結果のお知らせ、11月8日のいい歯の日、歯みがき指導の様子）
- 2 検診結果を基にした受診勧告の配付（検診直後に全生徒、2学期は未受診者が対象）
- 3 校内歯・口の健康標語コンクールの実施と県コンクールへの応募
（国語科と連携し全生徒が標語を作成し、歯・口の健康に対する興味関心を高めることが目的）
- 4 給食後の歯みがきの実施
- 5 保健委員会による給食時の歯みがき検査の実施と、昼の放送での結果発表・意識の喚起
- 6 養護教諭による歯みがき指導の実施
H24年度は、全校生徒を対象に、放課後、学級単位で実施した（約30分）。内容は、染め出しと自分に合ったブラッシングについて。生徒は、意外に関心を持って取り組んだが、その後のう歯の治療率アップにはつながらなかった。歯・口の健康に関する意識の高さは家庭環境との関係も大きく、全体指導だけでは、意識の低い家庭の生徒の早期治療にまでは至らなかった。
H25年度は、う歯の治療率の低さや受診することへの意識の低さ（昨年度の反省を生かし）、GO、Gの生徒の増加等から対象者をう歯所有者、GO、Gの生徒に絞り、養護教諭が放課後に学級ごと実施した。歯みがき指導の後、未受診者に対しては、受診勧告書を渡しながら個人指導も併せて行った。
- 7 学校保健委員会の実施
家庭と歯科保健の課題の共有を図ると共に学校の取組を知らせ、家庭の協力をお願いした。

面瀬中学校

校 長：佐藤 敏典
学校歯科医：皆川 一郎

生徒数：225名

○平成25年度学校保健の実践事項

スクールカウンセラーと連携し、こころのケアの充実のため、アンケートや体験的な活動を充実する。

- 1 給食後の歯みがきは呼びかけているが、徹底されていない。
- 2 学校保健委員会で学校歯科医より指導助言をいただいている。今後は歯肉炎対策に取り組みたい。
- 3 各学級での歯みがき・歯科受診の呼びかけをしている。
- 4 生徒保健委員会でのむし歯予防ポスター作成し掲示している。

新月中学校

校 長：中里 寛
学校歯科医：葛 政寛

生徒数：128名

○平成25年度学校保健の実践事項

規則正しい生活を身に付けさせ、自分の健康をコントロールできる力を育成する。

- 1 保健だよりなどを利用し、特に長期休業を利用しての歯治療を本人・家庭へ呼びかけている。3年生に対しては受験シーズン前に治療を終わらせようと呼びかけをしている。
治療費に関しての経済的な部分では、気仙沼市就学援助費「医療券」制度対象の家庭にはその制度の利用を勧め、在学中の治療完了を目標としている。
- 2 校内保健委員会において歯科検診の結果を提示し、学校歯科医から健康な口腔についてのアドバイスを受けている。指導内容は集会時や保健だより等を通じて生徒や家庭に伝えている。
- 3 歯科検診の際に、学校歯科医に生徒のはみがきの状態をチェックしていただき、個々に応じたはみがき指導を受けている。



4 その他

- ・ 生徒が小学校で受けた歯みがきの指導内容を継続したかたちで、給食後の歯みがきをクラス単位で行っている。歯みがきに積極的に取り組めるようにと、保健委員が中心となり丁寧な歯みがきについて声掛けをしたり、歯みがきの時間には生徒自身が興味を持つ曲を募集してかけたりと、自主的かつ積極的な工夫も見られる。

唐桑中学校

校 長：小松 康男
学校歯科医：佐藤 晶

生徒数：136名

歯
磨
き
の
様
子

○平成25年度学校保健の実践事項

進んで校舎内外を整理整頓し、きれいにしようとする意識と態度を育てるための生徒会活動を推進する。

- 1 歯科検診で歯肉炎（1，2）の生徒とむし歯初期（C0）の生徒に対し、歯科衛生士から指導をしていただいている。歯肉炎の生徒に対しては、歯の染め出しを行い、歯肉炎の原因や予防等について指導していただいた。むし歯初期の生徒に対しては、歯科検診の結果をもとに、むし歯とむし歯初期の歯に色を塗った個人用プリントを配布し、自分の歯の様子を確認しながら、むし歯のでき方、再石灰化などの仕組みについて指導していただいた。どちらも、唐桑地区で作成したパンフレットや歯科衛生士が作成した歯科指導用視覚教材を使用している。
- 2 毎年2年生で「食と歯の健康」のテーマで1時間の学級活動の授業を行っている。これは、担任がT1・T2となり、学校歯科医をゲストティーチャーとして迎え、自分の歯や口腔を健康に保つ意識や、食べ物や命に対する感謝の気持ちを育むことをねらいとした授業である。五感をフルに活用させてご飯を食べさせたり、よく噛むことの大切さを考えさせたりすることによって、自分の歯や口腔を健康に保とうとする意識が高まっていると感じている。
- 3 毎日給食後に歯みがきを行わせ、自分の席で3分間しっかり磨くよう指導している。養護教諭は年に1回昼休みに、各学級での歯みがき指導を行っている。
- 4 生徒保健委員会の活動として、歯に関するポスターの作成、歯の標語コンクールの呼び掛け、給食後の歯みがきの呼び掛けを行っている。また、保健講話で歯科に関する内容を年1回取り上げ、保健委員会がビデオ放送に出演している。
- 5 給食では毎月8の付く日に「かみかみデー」を設定し、かみ応えのあるメニューを取り入れている。また、給食委員会が「給食一口メモ」を作成、給食時間に校内放送し、食への関心を高めている。
- 6 学校保健委員会では話し合いを充実させるために、事前アンケートを実施し、疑問や問題について話し合いを行っている。

小原木中学校

校長：高野 勝則
学校歯科医：佐藤 晶

生徒数： 36名

○平成25年度学校保健の実践事項

日常の健康観察や定期健康診断を活用し、生徒が自分自身の健康状態を把握し、健康的な生活を送ろうとする態度を育てる。

- 1 学校歯科医をゲストティーチャーに迎え、健康について考える学級活動を行っている。主な学習内容は、「健康な体を保つために、口の中や歯を大切にしよう」ということをテーマとし、歯や噛むことの効果などについて講話をいただいている。
- 2 むし歯予防週間やいい歯の日に合わせて、歯科衛生士によるブラッシング指導や、養護教諭による染だし液を使った歯みがき指導を行い、毎日の歯みがきの実践に生かしている。
- 3 歯と口腔の健康の意識を高めるために、栄養士とタイアップしながら、廊下やランチルーム内の掲示物を工夫している。
- 4 養護教諭の研修として、学校歯科医と唐桑地区の小中学校5校の養護教諭が集まり、歯と口腔についての勉強会を行っている。

津谷中学校

校長：佐々木弘晃
学校歯科医：三浦 正利

生徒数： 136名

○平成25年度学校保健の実践事項

保健だより等を毎月発行し、家庭との連携を密にして、生徒の健康増進や病気予防の意識を高める。

- 1 歯科検診の際、各自が事前調査票を持って受診し、校医に直接指導をいただく。
- 2 口腔内環境についてミニ指導をする（給食時間に各学級巡回）。
 - ・歯科検診結果と注意点のお知らせ
 - ・いい歯の日前後に、受診勧告や歯みがきのポイント再確認
- 3 家庭訪問や教育相談の際、受診勧告を担任に依頼する。
- 4 受診確認アンケートをする。
 - ・う歯未受診者の保護者対象に、年2回、受診・予約状況や未受診理由等の確認
- 5 給食後の歯みがきを進める。

- 6 歯みがき指導（放課後）。
 - ・歯肉炎対象生徒に対してのグループ指導（H24年度まで）
- 7 学校歯科医による講話（H23年度）。

小泉中学校

校 長：加藤 高政
学校歯科医：山谷 立憲

生徒数： 49名

○平成25年度学校保健の実践事項

自他の生命を大切にし、心身ともに健康で安全な生活習慣を身につけるとともに、自主的に健康安全管理ができる能力と態度を育てる。

- 1 朝会等での養護教諭による保健指導
- 2 文化祭における生徒保健委員会の展示発表
- 3 生徒保健委員会による歯と口腔のポスターの作成と啓蒙
- 4 全校生徒による給食後の歯みがき
- 5 歯科医院への個別受診勧告

大谷中学校

校 長：舩田 育久
学校歯科医：芳沢 隆

生徒数： 92名

○平成25年度学校保健の実践事項

生徒の保健委員会の活動を通して「健康に関する呼び掛け」を継続させ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。

- 1 平成22年度より給食後に歯みがきタイムを設け、食後の歯みがきを実施している。また、22年度は学校歯科医による保健講話を参観日に行い、健康と口腔内環境について講話をいただいた。
- 2 平成23年度は、夏休みに鶴見大歯学部の子学生による歯みがき指導を実施した。昨年度は、歯肉炎と歯垢の付着している生徒が多かったため、口腔内の衛生指導として生徒保健委員に歯科検診の結果を知らせ、実態のグラフと歯みがき指導模型を使って、生徒が歯みがきを指導を行った。また、希望者には歯垢チェック（染め出し）も行った。
- 3 今年度は、学校保健委員会で歯治療率について話題として取り上げた。保護者から、治療の必要性を感じているが、共働きのため、なかなか子どもと親の日程が合わないなどの意見が出された。忙しい中でも、健康に関心がある家庭は、日程を調整して治療をしているが、家庭によっては難しいところもあるようである。金銭的に難し

いのであればと思います、保護家庭の保護者には、医療券制度について知らせ、治療を期待したが、申出のあったのは16人中4人だった。その際、申請はなかったが、むし歯が多く、口腔内の状況も非常に悪い生徒がいたので、治療の必要性を伝えることで、治療に至った生徒もいる。また、医療券を使わずに治療した生徒もいる。

- 4 治療しても毎日のケアがしっかりしていないと、口腔内の環境は悪化しやすいと考えている。そのため、生徒保健委員による健康調査で歯みがきについて調べたり、保健だよりにより歯の健康について載せて、歯の大切さを指導したりしている。

志津川中学校

校長：佐藤 正幸
学校歯科医：阿部 公喜

生徒数：224名

○平成25年度学校保健の実践事項

疾病予防の意識を高めるために、保健委員会を中心としたポスター作成や新聞等による呼びかけを行う。

- 1 給食後の全校生徒・全職員による歯みがきの励行
- 2 生徒保健委員会による歯の健康についてのポスター作成と掲示
- 3 保健だよりによる歯の健康についての啓発
- 4 県歯科医師会からのパンフレットを使用した保健指導

戸倉中学校

校長：小野寺由美子
学校歯科医：阿部 公喜

生徒数：43名

○平成25年度学校保健の実践事項

心のケアを継続しながら、生活環境の変化に伴う疾病等の予防についての研修を深め、積極的な指導・実践に努める。

- 1 給食後の丁寧な歯みがきの励行。給食後に全校で取り組んでいる。
- 2 保健委員会による「歯を大切にしよう」「歯みがき励行」のポスター作成や朝会での呼びかけなど。
- 3 宮城県歯科医師会から出された資料
「目指せ！中学生から生涯の魅力的な口もと」を使用した指導。
- 4 歯の衛生週間、夏季休業前には、毛先の広がった歯ブラシでは歯みがきの効果も低いことから新しい歯ブラシを配布して意識を持たせた。

- 5 CO（観察を要するう歯疑い）やGO（観察を要する歯肉炎）が見られる生徒にも早期の歯科医受診を勧めている。また、う歯の保有が多い生徒には生徒だけでなく、授業参観日に保護者にも直接早期治療をお願いした。
- 6 長期の休業後に「健康生活の振り返り」を行い、養護教諭からアドバイスを記入して生徒へ返している。
- 7 生徒だけでなく保護者にも、保健だよりなどで歯の健康について啓発した。また、歯科検診は年に一度の実施なので、2学期にう歯用と歯周病用のセルフチェックを行い、歯と口の健康について意識を持たせた。

歌津中学校

校 長：中鉢 裕
学校歯科医：小野寺 勉

生徒数：131名

○平成25年度学校保健の実践事項

自己の生命を守り、健康を保持増進するために基本的な生活習慣を身に付けさせ、自己健康管理能力を育成する。

- 1 毎週月・金曜日に清潔検査を実施（歯ブラシを持ってきているかの調査）
- 2 給食後のはみがきの実施
- 3 むし歯予防標語を募集し、各学年で最優秀賞、優秀賞を掲示
- 4 歌津地区歯科保健推進三校合同職員研修会（7月10日）
講義「口の健康 ～むし歯から肥満予防対策まで～」
講師 東北大学大学院歯学研究科
小児発達歯科学分野 教授 福本 敏 氏
- 5 1年生を対象に、福本先生による歯の授業実施（7月11日 5, 6校時）
- 6 保健委員会による掲示物の作成（11月8日いい歯の日）
- 7 歌津地区歯科保健推進三校合同研修会（11月27日）
講義「学童期の口腔疾患の現状と、その予防策について」
講師 東北大学大学院歯学研究科
小児発達歯科学分野 教授 福本 敏 氏